

(件名) 楠隼中高一貫教育校の共学化に関する陳情書

1 陳情に至った理由

私は、楠隼中高一貫教育校に子どもを通わせている保護者です。

令和4年11月に共学化・通学生受入検討のための保護者説明会が開催されましたが、反対意見が多数だったことはご承知のとおりです。

それ以降、保護者に一切の説明や経過報告もないまま、今回、県議会において楠隼の共学化・通学生受入が提案されると聞き及び、大変驚いています。

何より、全国唯一の公立の中高一貫男子校ということに魅力を感じ、楠隼を志望し入学した子ども自身が、共学化・通学生受入に反対しています。

よって、以下の通り陳情いたします。

2 陳情の趣旨

- (1) 楠隼中高一貫教育校共学化を中止すること
- (2) 楠隼中高一貫教育校の通学生受入を中止すること

楠隼の共学化は、全国唯一の公立全寮制男子校としての特色を大いに損なうものだと危惧しています。

また、親元を離れ、ようやく慣れ親しんだ現在の環境が大きく変わることは、子どもにとっての心理的な影響も大きいと懸念されます。

共学化・通学生受入に伴って起こり得る問題について、十分な検討や対策が講じられているとも未だ周知されておられません。

このような状況の中で共学化・通学生受入を決定することは、現に通学している子どもを軽視したものであり、保護者として容認できません。

楠隼の共学化・通学生受入の提案の否決を求めます。

以上、陳情いたします